

連携教育通信

<第1回保幼小中連携教育検討委員会が開催されました>

11月22日(火)教育センターにて開催されました。現在【充実期】にあること、今年度の連携教育の状況が確認されました。保育園・幼稚園が小学校・中学校の校庭を運動会で使用し、その時に中学生がボランティアで運動会を手伝ったという報告もありました。小中連携ではオープンキャンパスを中心に行っています。

来年度の取組については「保幼小連絡協議会」の名称、「乗り入れ指導」についてなど協議されました。次回引き続き検討することになっていますので、また報告させていただきます。

改めて連携に向け、中学校区別の小学校・就学前施設を広く周知していただきたく、今年度は就学前施設全園にも連携教育通信「別冊」として、施設一覧のデータを送付させていただきましたのでご活用ください。

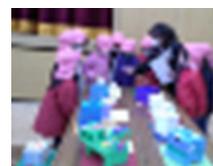


<小学校特集>

～今回は令和小学校の「展覧会」と白桜小学校の「研究発表会」を取材させていただきました～

<令和小学校・展覧会> テーマ：～夢広がる にじ色ワールド～

12月8日、令和小学校の展覧会を観覧しました。今回は区内の保育園、松が丘保育園と中野りるとるぱんぷきんずの5歳児クラスの観覧も取材させていただきました。渡辺副校長先生がご案内くださり、各学年の見どころや製作過程をわかりやすく話してくださいました。「1年生になったらこんなに大きな紙に描くんだよ」と聞くと「かけるかな…」と友だちの耳元でささやく子、1年生のパフェを見て「ほいくえんにかえったらやってみたい」と担任の保育士に話す子もいました。針金ツリーや切り絵・桜並木など高学年の作品を目をキラキラさせて観ていました。“一枚の板から電子系のこなどで作った木製の作品”について、ちょうど6年生が授業で作品鑑賞をしていたので、副校長先生が「作り方や難しかったところを話してあげて」と声をかけてくださると、6年生のお姉さんが話してくれるのを集まって聞いていました。次に園児から質問し、お兄さんを取り囲むとわかりやすい言葉を選んで話してくれました。作品も関わりもすてきな展覧会でした。



研究主題

「自然と向き合い、多様な考えを共有し、主体的に問題を解決する指導の工夫」
 ～問題を科学的に解決するために必要な資質・能力の育成～

～各学年の学習テーマ～

学年	科目	テーマ
1 学年	生活科	「楽しい秋いっぱい」
2 学年	生活科	「生き物仲よし大作戦」
3 学年	理科	「磁石の性質」
4 学年	理科	「ものの温まり方」
5 学年	理科	「物のとけ方」
6 学年	理科	「てこの働き」

1・2年生を中心に授業を参観しました。

1年生は、体育館と教室でそれぞれ生活科の授業をしていました。体育館での授業は、秋の自然物を使って友達が作ったおもちゃで遊び、良い点・改善点を付箋に書いて伝え合っていました。教室では、この後に行われる学年全体の秋遊びに向けておもちゃを作っていました。

2年生は、今まで世話をしてきたモルモットを1年生に引き継ぐために、抱っこの仕方・世話の仕方などの伝え方を発表形式での練習や紙にまとめるなど各クラスで取り組んでいました。

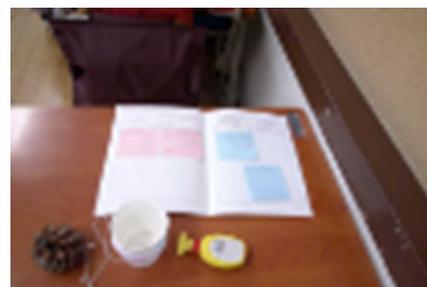
主題に迫るための工夫として①自然と向き合い、問いを見いだす工夫②多様な考えを共有する工夫③主体的に問題解決する工夫、を全学年共通で取り組んでいました。

45分間で授業参観し、もっと他の学年も参観したかったのですが、残念ながら時間が足りませんでした。

その後は「研究発表・研究協議」が学年ごとに行われました。そして、研究の指導をいただいた東京家政大学家政学部児童教育学科准教授・関根正弘先生による指導講評、「自ら問題を解決し、主体的に解決する児童の育成」という題目での講演がありました。



1年生



6年生



2年生



研究発表・研究協議